

せいしんがい報

2012年1月1日 第91号

注目記事

- ◆1ページ◆ 年頭のあいさつ
- ◆3ページ◆ 虹のかけはし再オープン

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

知的障がい者通働寮 レジデンスなごそ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 78-1336 ㊟(0246) 65-4160

ケアホーム・グループホーム
メゾン・ド・あたて、メゾン・ド・ほりきり、コーポあかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園
ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

虹のかけはし
〒971-8101 福島県いわき市小名浜丹波沼61-1
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

手打ちうどん 天眞庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5700 ㊟(0246) 65-5700

児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

明日に向かって 社会福祉法人誠心会 理事長 松崎 有一

多くの皆様を支えていただき、新しい年を無事迎える事ができたことに感謝しながら今年も、一步一步あゆんでいきたいと思えます。

考えてみると昨年は、大きな出来事があり大変な一年でした。世界ではタイで洪水被害。中東では、「アラブの春」で長期独裁政権の崩壊等色々な出来事がありました。

さらに、日本においては東日本大震災や震度6弱の地震が連続して起き、当法人経営の就労継続支援事業「虹のかけはし」の賃貸ビルが損壊し、別の場所に移転せざるを得ない状況が起きて、大変な苦労の連続でした。又、東京電力福島第一原発事故でいわき市は、風評被害で色々な産業に大きな影響がでたことで、復旧・復興に遅れを取り戻す作業がなかなか進まない状況が続きました。

障害福祉領域に目を移しますと、「つなぎ法」の一部施行、つまり障害者の範囲の見直し。さらに、地域にお

ける自立した生活支援の充実の一部施行。来年度には、利用者負担の見直し、相談支援の充実、障害児支援の強化が施行されます。

さらに、障害者総合福祉法(仮称)が、通常国会に上程される予定です。それらの目指すものは、①障害のない市民と平等と公平、②障害の種別間の谷間や制度の空白の解消、③どこに暮らしても一定水準の支援が受けられるように格差是正、④精神障害者が社会的入院を続け、知的や重複の障害者等が地域で支援不足による長期入所などの社会問題を解決、⑤本人のニーズにあった支援のサービスの決定、⑥安定した予算の確保、とされています。

このように、制度改革が本格化してきており、事業者は、舵取りが大変難しい時代の到来と考えております。

ここは、多くの方々のご指導を受けながら、職員一丸となり難局を乗り越えていきたいと思えますので、今年もよろしくお願いいたします。

おかげさまで新年を迎えることができました

昨年の東日本大震災の際には、地域の皆様をはじめとし多くの方々からのご支援・ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

本年も昨年同様、当施設の様々な事業運営に対しまして、ご協力をお願いいたします。

昨年は穏やかな新年を迎えたはずでしたが、3・11の観測史上最大の地震により一変し、多くの人が犠牲となり、更には、建物や道路等東北地方を中心に甚大な被害に見舞われました。その後、東京電力福島第一原発の事故があり、言葉では言い尽くすことの出来ないほどの大変な一年でありました。

当施設でも、建物被害があって居室が利用できなくなり、利用者の皆さんは体育館での避難生活をしたり、物流が止まり食料が入らず非常食でつないだり、ガソリンがなく職員の通勤にも困難をきたし、施設近くの空き家

救護施設やしおみ荘 施設長 上遠野 重行

を借りて対応していました。その他、原発事故の正しい情報が入らず、避難先の確保などの検討を余儀なくされました。その後は全国からの支援物資等も届き落ち着きを取り戻しつつあったところの、4・11と12の余震により追い打ちをかけられ、施設の各居室の一部が崩壊し集中避難をし、電気・水道・ガス等のライフラインが途絶えてしまいました。復旧するまでの間、利用者の皆さんには不自由な思いをさせてしまいましたが、けが人もなく難局を乗り越える事が出来ました。これも多くの皆様からの支援のおかげと改めてお礼申し上げます。

やしおみ荘では、高齢化が進み施設環境づくりが重要であると考えておりますので、安心・安全なサービス提供に取り組んでいきたいと思えます。なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

2012年 新年のごあいさつ

●就労継続支援B型

虹のかけはし・しおさい・天真庵

管理者 永 沼 憲 一

あけまして おめでとうございます。

新年を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、3月11日に起きた東日本大震災に関する出来事は、今でもはっきりと脳裏にうかんでまいります。

当就労継続支援事業B型三事業所につきましても、様々な損害を被りました。

この影響で利用者様には多くのご迷惑、ご心配をおかけい

たしました事、紙面を借りて深くお詫び申し上げます。

特に虹のかけはしにつきましても、事業所移転を余儀なくされるほどの損壊でありました。

しかしながら、皆様の御協力の下、小名浜丹波沼に再オープンする事が出来ましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、今回様々な傷跡を残した東日本大震災であります、「絆」と言う言葉で代表されるとおり、国内（場合によっては国際的にも）人と人との連帯感が強まったことも事実です。この様な中、就労継続支援事業B型三事業所力を合わせ、互いに協力しながら、利用者様のニーズにあうような支援を心がけてまいりますので、本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

●児童デイサービス チャーむ 日中一時支援事業ウイズ

管理者 小 宅 幸 恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災とそれに伴う原発事故や風評被害と日本全体が大規模な災害に見舞われた年でした。チャーむでは震災後、ライフラインが復旧するまで休所することになってしまいました。保護者の方々へ安否確認の電話をすると、避難所での生活を余儀なくされたこと、親子で炊き出しのポ

ランティアに出向いたことなど各家庭での生活をお聞きし、利用者全員が無事であることに安堵いたしました。

開所時には、子どもたちとの再会でたくさんの笑顔を見ることができ、職員一同命を預かる大切さ、人との絆の大切さを改めて感じる事ができました。

今年は、輝かしい一年になることを信じ、子どもたちの成長を願うとともに、情報提供等に努め安心できる環境で支援をしてまいりたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

●ヘルパーステーション あくていぶ

管理者 鈴 木 美 智

昨年は、未曾有の事態を受け、皆様大変な1年になったかと思えます。

私たち、あくていぶの事務所も被災し、勿来町への移転を致しました。それでも、皆様に変らぬご愛顧を頂き、誠に有難うございました。

今年は、「あけましておめでとうございます」という言葉が、あまり適切ではないと言われ、自粛される方も多いと聞

き、個人的なことですがどのような言葉で年賀状を出せばよいのかと探していたところ、「笑うあなたに福は来る ねっ」という一文を見つけ、なんだか心がほっとしました。どんなにつらい状況でも、「笑っていれば良いことがやって来る」の言葉通り、あくていぶ職員一同笑顔を忘れずに過ごしていきたいと思えます。

頑張っている皆様が、笑顔になれる幸多き年になるよう、私たちヘルパーステーションあくていぶが、少しでもお手伝いできればと思いますので、今年も、皆様の変らぬご愛顧とご協力を、宜しくお願い致します。

●レジデンスなこそ

グループホーム・ケアホーム

施設長・管理者 大 橋 梨 香

新年を迎えて、利用者の皆様は気持ちも新たに生活をしている事と思えます。昨年は、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故と大きな災害に遭い、利用者も仕事や作業所が休みになりました。また、レジデンスなこそやグループホームでの生活も停電、断水、自由に外出が出来ないなど不便な生活を送りましたが、この時に学んだ事「皆で助け合う、相手を思いやる、協力する、我慢をする」を忘れずにこれからも

生活をしてくれることと思えます。

利用者の皆様にはレジデンスなこそ、グループホーム、ケアホームを利用して頂き深く感謝しています。レジデンスなこそは、3月1日からケア、グループホームに移行しますが、グループホーム、ケアホームになっても「利用者さんが望む生活が叶えられるよう」努力をしていきたいと思えます。また、「レジデンスなこそ、ほりきり、あたご、おかおなで生活して良かった」と思ってもらえるような支援を職員、世話人と連携して頑張っていきたいと思えますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

●地域生活相談室せんとらる

矢 吹 美 和

昨年は東日本大震災や原発事故があり、私達の生活も大幅に変わってしまいました。あの大変な状況の中、地域で生活される障がいをお持ちの多くの方々も、自分の生活を守るために、力強く頑張り、そして乗り越えました。大変な状況を乗り越え、たくましく生き抜く姿に、私達も勇気づけられま

した。震災当初は、自分の身を守ることだけに精一杯だった利用者も、環境が落ち着くとともに、個々のニーズが多様化しています。

昨年同様、今年も地域の方々や様々な関係機関と、連携を図りながら、障がいのある方の「自分らしさ」を大切に、支援していきたいと思えます。新たな年を迎え、気持ちも新たに進んでいくことができる年にできればと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

虹のかけはし再オープン 虹のかけはし

11月1日(火) 植田駅前にあった虹のかけはしはビルが被災した為、小名浜に移転し、日本財団様の助成金を受け、再オープンを迎える事が出来ました。震災後、利用者の通勤出来る場がなくなり、天真庵を間借りする形での作業やローテーションでの出勤等、沢山の不便をおかけしてきた不安定な日々を振り返ると、『虹のかけはし』という場所が再びオープン出来、利用者が出勤出来る場が出来た事を心より嬉しく思っております。



移転にあたっては、植田地区の利用者が多く通勤されており今後の通勤への不安の声、長年植田町でお世話になった

方々との別れ等、文面では表せない程の沢山の複雑な想いがありました。しかし、一日でも早く利用者が落ち着いて通勤出来る場所を作る事が、そして小名浜に移転しても今までと変わらない『虹のかけはし』で居続ける事が、私達職員の使命であると感じております。

通常通り出勤出来る場がある事、そして通常通り作業が出来ることがある事は、決して当たり前ではなく本当は一番難しいという事を、震災から虹のかけはしが再オープンするにあたって深く感じました。出勤出来る場がある事・利用者支援が出来る事、決して当たり前ではない幸せを心に刻みながら、『虹のかけはし』を皆の力でよりよい施設にしていこうと感じました。

虹のかけはし再オープンに際しましては、日本財団様の助成事業(被災した障害者支援施設(就労継続B)の復旧)により助成金を頂き、建物等がより利用し易く整備され、物品も揃い、環境を整える事が出来ました。紙面をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

通所事業部合同クリスマス忘年会(保護者との懇談会) 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

12月16日(金)、植田駅前「ホテルアクセス」にて、通所事業部合同クリスマス忘年会(保護者との懇談会)が行なわれました。

東日本大震災後、初の保護者との懇談会となりました。震災では、皆様がそれぞれの場所で大きな被害を受け、一時は事業も再開できるのかという不安もありました。しかし、皆で大変な状況を乗り越え、利用者・保護者・職員が共に話せる場所を持つことができ、とても有意義な会となりました。

利用者の方々は、美味しい料理や飲み物を満喫し、とても満足な様子でした。また、以前より「カラオケの時間が沢山欲しい」との要望があり、今回は長い時間、カラオケを楽しみました。歌に合わせてタンバリンを叩く方やダンスをする方もいて、

大変にぎやかなカラオケ大会となりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は震災に負けずに「頑張ろう！」三唱で幕を閉じました。利用者からは「まだまだ歌い足りない。」との声が沢山聞かれました。それにつきましては、この次のお楽しみとさせていただきますね。



植田歩行者天国 虹のかけはし

10月10日(月)、植田歩行者天国に出店しました。私たちの作業所は、東日本大震災の影響を受け休所・改修・移転を余儀なくされており、5月の歩行者天国には出店することが出来ませんでした。当日は大雨での開催となりましたが、久しぶりの販売行事ということもあり、利用者の方々は皆元気に自分たちが心を込

めて作った商品を宣伝し、笑顔で接客をしていました。また、顔なじみのお客や休所・移転を知ったお客様から、たくさんの応援の言葉を掛けて頂き、大変嬉しく、心強く感じています。これからも地域の方々に愛される作業所、商品を作りたいと強く感じた一日となりました。

忘年会 やしおみ荘

12月15日(木)、当荘体育館で忘年会が行われました。今年一年は3月の東日本大震災や東京電力福島第一発電所事故などがあり、忘れられない年となりました。そのような中で今年も怪我なく、無事に一年を終える喜びを利用者・職員共々いつも以上に感じていました。

カラオケでは各棟4グループに分かれ、それぞれに自慢の歌声を披露して頂きました。始めはマイクを渡されても「みんなの前では…」と遠慮してしまう方もいましたが、一度マイク

を握れば、心を込めて歌っていました。その姿ほどの歌手の方にも負けない程に力強く、可憐でした。利用者の間にも、「歌上手だね。」との会話も聞かれ、照れた表情の中に笑顔も見られました。

その後の会食では、「カンパニー。」と来年が良き年となるよう願いを込めて乾杯し、美味しい料理に自然と表情もほころんでいました。

来年もみんなが健康に過ごせますように。

一泊旅行 Aグループ やしおみ荘



10月6日(木)～7日(金)、福島・山形・栃木方面へ出掛けました。山形の旅では、上杉謙信や上杉景勝で有名な米沢市の上杉神社を参拝していると、甲冑に仮装した人達に目を奪われ、一緒に記念撮影をする方やおやつにアイスを食べる方があるなど楽しみ方は様々でした。その後福島へ移動し、夜は芦の牧温泉にて優雅に温泉を楽しみ、大盛り上がりな宴会と満足の日となりました。二日目の会津、大内宿では会津西街道の宿

場町の家並みを残した幻想的な雰囲気堪能しました。その後の栃木では那須アウトレットを訪れて観光とお土産とで普段とは違って忙しい一日に時間が経つのもあっという間でした。帰りのバスの中では少し名残惜しい雰囲気にも包まれていましたが、それだけに充実した二日間を過ごせました。

震災で辛い日々を過ごしていたこともあって、心からの笑顔を見られたことは先の明るい日常への兆しにもみてとれました。

一泊旅行 Bグループ やしおみ荘

10月20日(木)～21日(金)にかけて、新潟方面に旅行に出かけました。絶好の旅行日和で利用者18名、職員9名で元気に出発しました。一日目は奥州三関所の一つ「念珠関所」や名勝天然記念「笹川流れ」を見学しました。また、夕日に映えた日本海を近くで眺める事もでき、利用者も見入っていました。瀬波温泉に到着すると、今回の目玉でもある日本海に沈んでいく夕陽を見ることができ、美しい景色を少しでも記憶に留めようとじっと眺めている姿が印象的でした。その後は温泉にゆっくり浸り、宴会も皆でカラオケをして大いに盛り上がりました。

二日目は鮭の博物館と村上市伝統の山車の資料館を見学し、いろいろな鮭と綺麗に装飾されている大きな山車に驚きながら

も、守り伝えられてきた歴史に耳を傾けていました。帰り道ではさすがに疲れた様子が見受けられましたが、終始天候にも恵まれ、「また旅行に行きたい。」「とても面白かった。」と元気よく話されている姿も見られ、笑顔の絶えない旅行となりました。



日帰り旅行 ～気分はサバンナ～ ふじみ更生園



11月24日(木)に日立かみね動物園に出掛けました。当日は晴天に恵まれ、絶好の外出日和となりました。動物園では改修工事が行われていた為、従来より近い距離で動物を見学したり、動物の行動展示も見ることが出来て皆大興奮でした。特に人気だったのは百獣の王ライオンです。皆でライオンを指差しながら見ていると、それまで横になっていたライオンが起き上がり、こちらに近づいてきたで

はありませんか。あまりの迫力に「怖い」と後退りしてしまう方もいらっしゃいました。また、「ふれあいコーナー」ではウサギを抱いたり、ヤギに餌をあげるなどし、歯の生え方や毛並みなど動物の生態を知ることができました。短い時間ではありましたが、たくさんの動物と触れ合い、心が和んだ旅行となりました。

さくら通り一泊旅行 ～会津いい旅夢気分～ ふじみ更生園

11月9日(水)～10日(木)にさくら通りの利用者とその保護者、職員の合わせて30名は一泊旅行に出掛けてきました。行き先は昔の趣きがそのまま現代まで残り、そして今の時季紅葉が素晴らしい会津です。

初日はまず会津藩校日新館で起き上がり小師の絵付けを行いました。決して倒れず何度も起き上がるその姿に、大震災に負けず立ち上がる自分自身の姿を重ね合わせるかのように皆熱心に色付けを

行っていました。その後大内宿に行きお土産等を購入し、芦の牧温泉で宿泊となりました。ホテルでは温泉で疲れを癒したり、宴会のカラオケで美声を披露したりと各々満喫している様子でした。

2日目は会津武家屋敷で新撰組や町娘の衣装を着たり、鶴ヶ城の天守閣に登ったりと、まるでその時代にタイムスリップしたかのような一日でした。

天気にも恵まれ、沢山の思い出が出来た旅行となりました。



コスモス通り旅行 ～秋色深まる会津夢紀行～ ふじみ更生園



10月18日(火)～19日(水)、今年のコスモス通り利用者の一泊旅行は、会津地方への旅となりました。震災後初の旅行でしたが、塔のへつりの絶景や大内宿の古い町並みは、震災前と変わらず健在でした。また皆が楽しみにしていた宿の温泉では日頃の疲れを癒し、美味しい食事をお腹いっぱい食べて有意義なひと時を過ごしました。二日目の会津藩校日新館では、全国屈指の教育機関であった藩校の

歴史をビデオと施設見学を通して学びました。皆展示してある本物の剣に眼が釘付けとなり、つかの間ではありましたが会津の歴史に触れることが出来ました。「また機会があれば訪れたい。」との声が聞かれ、惜しむ気持ちを抱きながら園への帰路に着きました。震災で気持ちが落ち込みがちでしたが、今回の一泊二日の旅行は、例年とは異なる特別なものになりました。

クリスマス会

やしおみ荘 12月16日(金)、当荘体育館にて棟ごとに分かれてゲームをしました。みんなで協力しながらゴールを目指し、いつの間にか笑顔になっていました。



～サンタさんからの招待状～ ふじみ更生園



12月21日(水)、パレスいわやにてクリスマス会が行われました。利用者は皆数日前より楽しみにしており、当日は精一杯お洒落をして出掛けました。今年は「サンタさんからの招待状」というテーマのもと、職員がサンタに扮し、劇を行いながら進行しました。会の初めにはプロジェクターで写真を投影しながら今年一年を振り返り、その後は皆さん

のお楽しみ、メインイベントの菊池章夫さんのコンサートです。菊池さんの歌声に引き寄せられステージに上がる方もちらほら。その後は園内活動の一環であるミュージックケア(クリスマスバージョン)をサンタさんと共に行いました。来年もサンタさんが来てくれるように皆で頑張りましょうと決意を新たにしました。

ちゃーむ 12月22日(木)、待ちに待ったクリスマス会。

今日はサンタさんが来てくれる事を伝えると、「いつ来るの?」とそわそわしている様子が伺われました。

いよいよクリスマス会が始まりました。外から「トントン」と戸を叩き現れたサンタさんにびっくりし、「わー」という歓声や、おどろいて逃げてしまう子、恥ずかしくて下を向いてしまう子など様々なリアクションを見せていました。

サンタさんから一人ずつプレゼントを

もらいツーショットでの写真撮影。緊張した面持ちでサンタさんに寄り添っていました。質問コーナーでは、去年は「〇〇がほしい」とお願い事が多かったのですが、今年は「何歳ですか?」「ゲームは好きですか?」など色々な質問をすることができました。

昼食は天真庵のオードブル。大きなエビフライや大好きなお肉がそろい、あっという間に食べてしまいました。プレゼントももらいお腹もいっぱい笑顔が沢山みられた一日でした。



レジデンスなこそ 12月25日(日)レジデンスな

こそでクリスマス会が行なわれました。今回は、食事の注文から司会進行まで自治会中心で行ないました。ケーキは各自好きなものを準備しましたが、クリスマスということで大きなデコレーションケーキから和菓子まで、

テーブルに並びました。そしてビンゴゲームやプレゼント交換・今年の反省と来年の抱負を話し、互いに拍手と声援を送りあいました。自分の選んだプレゼントが他利用者の手に渡ると、嬉しいと話しをする利用者もおり、楽しい時間を過ごしました。

食 事 会 虹のかけはし



11月3日(木)午前中の作業を終えた後、食事会を行いました。今年は東日本大震災の影響で楽しみにしていた旅行が中止となり、その代わりに何か皆で楽しめるイベントを企画したい。また、虹のかけはしは建物が被災し、自宅待機・移転等と様々な困難に見舞われましたが、それでも頑張った利用者に大きなプレゼントをしたい。皆の心の底からの笑顔が見たい。…その様な想いで食事会を実現する事が出来ました。

イタリアンレストランに到着すると、色とりどりの前菜から始まり、続いてはチーズフォンデュ。あまり普段食べる事が出来ない食事に、初めは緊張気味の利用者。数種類のピザやスパゲティが次々に運ばれ、美味しい料理に舌鼓を打ち、皆の表情から笑顔がこぼれていました。たくさんの料理を食べ、久し振りに皆でゆっくりとした時間を過ごし、お腹も心も満たされました。また、11月の誕生日の利用者にケーキと手紙のサプライズプレゼントがありました。

その後、再開したばかりのアクアマリンふくしまへ移動し、思い思いの時間を過ごしました。綺麗な魚たちに魅了され、見入る利用者の姿がありました。また、何といても一番人気は、恥ずかしがりや?のアザラシの「きぼう」ちゃんでした。潮目

の水槽にも心を奪われ、純粹に幸せなひと時を過ごす事が出来ました。

最後は、公園で鬼ごっこ。皆子ども時代に戻った様に、心から笑い、走りまわり、素敵な時間は幕を閉じました。

震災の影響で避難先での水族館で生まれた「きぼう」ちゃんの姿に勇気を貰い、また困難があっても復興できたアクアマリンふくしまの強さを目の当たりにし、これからもどの様な困難があろうと、利用者・保護者・職員が力を合わせて進んでいこう…そう強く感じた食事会となりました。

餅つき ふじみ更生園

12月27日(火)、ふじみ更生園で「餅つき」が行われました。当日はチャーむの子どもたち17名が来園し、にぎやかな餅つき

となりました。初めは遠慮していた利用者も、周囲の「よいしょ、よいしょ」の掛け声に押され、いつの間にか夢中になって杵を下ろしていました。頑張ってたお餅はお昼にゴマ、きな粉、あんこ餅にしておしく頂きました。

ハートフル・イン・やしおみの冊子 アンケート集計

やしおみ荘

前回号にて「ハートフル・イン・やしおみ」の冊子を配布した件について紹介しました。冊子の最後にアンケート用紙を用意し、2小学校の協力のもと、子どもたちに学んだこと・感じたこと等の意見・感想を書いて頂きました。

一人ひとりの感想の中には、「障がい者へのイメージが変わった」「自分の出来ることで障がい者を手伝ったり、助けたりしたい」「もっと点字や手話を勉強したい」との声が多く聞かれ、中には「スタッフの人は助っ人だと感じた」との感想も見られました。

ご協力くださいました2小学校の5・6年生の皆さんをはじめ、先生方・関係者の方々に、紙面をお借り致しまして御礼申し上げます。

寄付を頂いた方

佐藤理容所 様

これからの予定

やしおみ荘

- 1月
- ◎初釜
- 2月
- ◎節分
- ◎社会性自立支援
- ◎新年会
- 3月
- ◎ビデオ鑑賞会
- ◎ひなまつり

ふじみ更生園

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎豆まき
- ◎未帰省者外出
- (男子・女子)

虹のかけはし

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎カラオケ大会

ワークセンターしおさい

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎カラオケ大会

デイサービスチャーむ

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎節分
- 3月
- ◎ひな祭り

レジデンス・GH/CH合同

- 1月
- ◎合同新年会

天真庵

- 1月
- ◎新年会

せんとらる

- 3月
- ◎セミナー開催

編集後記

昨年1年を表わす漢字は「絆」でした。年末年始に家族で過ごす家庭も昨年と比較すると増えたとのニュースを聴き、今

年は家族や友人など、自分の大切な人たちとの「絆」をより一層深める、実りある1年にしたいと思います。